

キ イ ショウ フウ エン
社会福祉法人 紀伊松風苑

業種 医療/福祉 所在地 和歌山市園部1668番地の1 TEL 073-455-3676 FAX 073-455-5311
 従業員 正規130名(男44:女86)/非正規73名(男18:女55) WEB https://www.kii-shoufuen.jp
 結婚・子育てのための取り組み 育児休業/介護休暇/短時間勤務/事業所内保育施設開設/出産祝い金/扶養家族手当



地域の特色・文化を尊重し、地域で求められることに耳を傾けることが社会福祉法人の使命と考え、福祉だけでなく医療保険や教育の分野とも連携することが重要と考え、あらゆる角度から問題解決に取り組んでいます。



施設内保育所はいつでも子供の様子がみえる

親子いっしょに登園できる施設内保育所開設で 育休取得率・産後の復帰率ともに100%に



離職問題の解決策で作った保育所が、想定外の人材確保にも

きっかけは新入社員の数が減ってきたことです。少子化の問題もあってか、以前より新たにきてくれる人が減ってきていると感じていました。なら今いる人たちはどうなのかと考えた時、実務を積んで介護福祉士になったのに結婚や出産で辞めてしまう人が多いことに気づきました。その原因は育児と仕事が両立できないからです。働きたくてもなかなか子供の預け先がない。0歳児保育となるとなおさらです。「それならうちでやればいい」と、2012年に県内で先駆けて施設内保育所「まつかぜ保育園」を開設しました。保育料も福利厚生として安く設定。これには理事たちから大丈夫なのかと心配の声もありましたが、法人が傾くほどの



総施設長/横山マリコさん

赤字でないならやるべきと理事を説得しました。おかげで今では女性の育休取得率は100%、男性の取得率も14%に。産後の復帰率も100%になりました。

当初は現状働いている職員の子供の預け先としてスタートしたのですが、話を聞いて、新たに働きたいという人も来られました。子供の預け先と仕事の両方を探すシングルマザーでした。想定外でしたが、育児支援が新たな人材確保にもなるという可能性を見出すことができました。

園児たちは行事で施設の高齢者と交流する機会も多く、核家族が増える中でよい経験にもなっていると思います。こうした実績を踏まえて2018年には育児に優しい子育てサポート企業の認定「くるみん認定」を受けました。今は0歳児から3歳児までの利用で、4歳児からは近くの大規模の園に移る場合が多いですが、就学前までの保育や、就学後の学童保育など、今後幅広く育児支援を視野に入れています。

課題解決までのプロセス

解消したい課題

退職・離職を選ぶしかなかった環境

- 時間や場所などの条件から負担なく子供を預けられる場所がなく、働きたくても出産を機に退職・離職する人が多かった。
- 一般的に待機児童にならないために4月入園に合わせて育休を切り上げるケースも多いため、休暇取得中も不安になる。

課題への取り組み

施設内保育所を開設するなど環境を改善

- 安心して子供を預けられる場所をつくるために、スペースの確保や運営方法を模索し、**施設内保育所を開設**。
- 職員であれば利用できるのも、パパママだけでなくヘルパーさんのお孫さんの利用や、一時保育など、**さまざまなケースに対応**。入園は0歳児から可能に。
- 法人主催で若手職員を集めたビアパーティなどの**レクリエーションも企画**。社内行事であれば外出もやすく、ほどよい育児中の気晴らしに。

導入成功のアイデア

- 最初は施設内の使っていなかった部屋を利用して少人数から預かりを開始。その後、人数や年齢の幅が増えたため、園庭付きの広い場所に移動。
- 導入にあたり、当初は保育士を雇って自社での運営も検討しながら、最終的に経験豊富なプロに任せた方がよいと判断し、企業内託児専門の事業者に依頼。

導入の成果

従業員の退職・離職を防いで、新たな人材も確保

- 育休取得率が女性で100%、男性14%、産後復帰率も**100%**に。
- 親子いっしょに職場と園に通えるので、**余分な送り迎えが必要なく**負担が減少。
- 育休を切り上げることなく、しっかり1年休んで**休む前と同じ仕事に復帰可能**。
- 施設の高齢者とも季節行事やイベントで定期的に交流することで、**子供の世界観を拡大**できる。

現場の声



施設内保育所を利用している介護職員の清水さん

ちょうど保育所ができる時期に結婚したんですが、出産後も働きたくったので一気に不安が解消されました。職場内に保育所があると、シフトに合わせて預けられるので助かります。

最初の子は復帰した頃にまだ母乳をやめられていなかったため、お昼休憩時に園まで授乳に行ったりしていました。発熱の際も内線で連絡がもらえやすし、走れば1分で駆けつけられます。また季節の行事も多く、年齢の上下なく一緒に遊んだりすることで息子は年下の子やお年

寄りによって不安が解消された

寄りに優しくなってきました。女性の多い職場なので、育児はみんな共通の心配ごと。これから出産する子たちから相談を受けることも多く、先輩としてアドバイスしています。

